

1 渡辺 竜彦 議員（志政会）

- (1) 坂井市の災害・感染症などを含めた危機管理体制は
- ・災害時における災害ごみへの対応は。
 - ・災害時に避難所に指定されている市内小中学校の防災機能は。
 - ・自然災害発生時に住民の避難費用を補償する住民避難保険に加入しているのか。
 - ・本市の「道の駅」の防災機能はどのようになっているのか。
 - ・災害時に欠かすことのできない「地域防災計画」は何年ごとに見直しをかけているのか。
 - ・自然災害や、今回の新型肺炎などを含めた災害・感染症対策としての危機管理体制として、市ではどのように取り組んでいるのか。

2 川畑 孝治 議員（政友会）

- (1) 子どもセンターをつくっては
- ・市内4地区に子どもセンターを設置しては。
- (2) 企業版ふるさと納税を活用して、アリーナ建設を検討すべき
- ・企業版ふるさと納税を活用してアリーナ建設を検討しては。

3 広瀬 潤一 議員（志政会）

- (1) 三里浜地区の砂丘地農業の振興策について
- ・ラッキョウの作付面積に対しての助成金を出せないか。
 - ・ラッキョウの製品、作物に対して補助金を出せないか。
 - ・オリーブ栽培について、産地化を考えてはいかがか。
- (2) 三国の水産業の振興策について
- ・フィッシャーマンズワーフ構想はどうなっているか。
 - ・魚市場の老朽化による改築、建て替えの考えはどうなっているか。

4 後藤 寿和 議員（志政会）

- (1) スマートシティの実現に向けて
- ・市ICT活用推進計画は各所管課に向け多岐にわたって事業化の計画だが、所管課の横の連携はスムーズに行われるのか。
 - ・市ICT活用推進計画は坂井市のスマートシティの実現に向かっていると思う。市としてスマートシティの実現についてはどのように考えているのか。
 - ・未来の技術といわれる技術革新であるが、市としてはどの分野に注目しているのか。また、どの分野で導入を検討しているのか。
 - ・今後ICT・IoT、AIの急速な技術進歩を活用することで市民の暮らしが変わると思われる。今後、市としてどのように向き合い取り組んでいくのか。

5 上坂 健司 議員（政和会）

（1）「健康で幸福なまちへ」政策の方向性

- ・健康都市宣言後、健康推進で全国健康保険協会と協定連携しているが、データ分析から見え始めた成果や課題はどうか。
- ・坂井市健康都市宣言を基軸に、健康経営に賛同していただける企業・事業所と連携した「健康経営宣言」事業はどうか。
- ・若年者の方を対象とした民間先進健康増進プログラムの施策や、自宅にしながら検査できるスマホ de ドック（簡易血液検査）の実施はどうか。
- ・病院などで、プチ臨床検査マイチェック（受けられる方ご自身の選択で血液・尿などの臨床検査）の実施はどうか。
- ・薬局などで、高齢者のポリファーマシー（重複多剤服薬）対策事業はどうか。

（2）坂井市立三国病院の今後は

- ・病院の統合・再編の背景は、どう捉えているのか。また、課題はどう捉え対応していくのか。
- ・今後、診療報酬改定、2024年医師の働き方問題、2025年社会問題がある中で、「地域医療とまちづくりや質の向上」について、どう捉え対応していくのか。
- ・医療スタッフ交流や臨床試験に向け、福井大学附属病院と包括協定しているが、諸課題の評価・検証はどうか。また、今後、経営改善も含めた指定管理制度はどう考えているのか。
- ・市内全域から三国病院への交通アクセスの利便性の向上は、どう考えているのか。

6 戸板 進 議員（志政会）

（1）地域医療機関としての三国病院の役割について

- ・60日と期限がついた地域包括ケア病床の患者の退院後、復帰する場所はどのようになっているのか。
- ・2025年問題、2040年問題が迫る中、医療と介護の連携は不可欠なものと考えるが、地域医療機関として、今後どのように明確化していくのか。
- ・病院内の地域連携室は、今後さらに重要な機関となると考えるが、現在のスタッフ数など現体制の状況と、活動内容についてはどのようになっているのか。
- ・医療と介護同様に、診療所との連携も不可欠なものと考えるが、現状ではどのような連携がとられているのか。

7 近藤 哲行 議員（政立会）

（1）三国駅前を明るく

- ・駅前の屋台村のことを提案する。商工会、銀行の協力も得て、三国の飲食店に呼びかけてテナント募集をする。
- ・スペースがあれば足湯を設置する。
- ・三国駅舎に北前船のイルミネーションを点灯してはいかがか。
- ・モネ・テクノロジーズの内容を伺う。その中で無人タクシーも可能かどうか伺う。

（2）外国人観光客へのおもてなし

- ・外国人向けの避難情報の案内板を付けるべきではないか。携帯アプリを作成すべきではないか。
- ・外国人向けの観光マップは出来ているのか。もし出来ているならばどこに設置されているか。

(3) 住みます芸人について

- ・住みます芸人を取り入れた趣旨は何か。
- ・住みます芸人は県外に発信はしているのか。
- ・坂井市に在住の芸人を採用する考え方はあるのか。

8 山田 秀樹 議員（志政会）

(1) 公共空間 三国駅周辺整備について

- ・三国駅周辺整備事業の詳細な内容は。
- ・利用客から「駅出口を出ても案内サインが分かりづらく、どこへ歩き出せばよいのか分からない」との声を聞く。利便性向上の方策は。
- ・駅周辺の回遊性を高める方策は。またアーバンデザインセンター坂井が進めている「三国湊サイン整備プロジェクト」との連携は。
- ・市民が愛着を持って継続的に関わられる公共空間とするために、計画段階から市民のアイデアや専門家の見識などを積極的に導入し、公共性が醸成されるプロセスが必要と考えるが。
- ・昨年6月の一般質問の答弁で、三国駅に無料W i - F i が整備されているとのことであったが、実際は一部ユーザーのみの利用に限定されている。観光と産業の振興促進を図る上で、誰もが利用できる無料W i - F i 環境が早急に必要では。
- ・駐車スペースが増えるが、駐車サービスのあり方についてどのような考えでどのように運用していくのか。

9 前川 徹 議員（政和会）

(1) 犯罪や交通事故などの被害者支援について

- ・坂井市における犯罪被害者支援の取り組み内容は。
- ・中・高校生を対象にした「命の大切さを学ぶ教室」のこれまでの開催状況と今後の計画は。
- ・「犯罪被害者支援自動販売機」を庁舎に設置してはどうか。
- ・古本を寄贈して被害者支援活動を応援する「ホンデリング」プロジェクトを、犯罪被害者週間のときに市民に呼び掛けてみてはどうか。
- ・犯罪被害者の支援を行うための基本的な考えを定める、犯罪被害者の支援に特化した条例「坂井市犯罪被害者等支援条例」を制定してはどうか。

10 前田 嘉彦 議員（政和会）

(1) 中期財政計画とICT活用推進計画について

- ・人件費や物件費が膨らむ中で、市公共施設総合管理計画における今後の維持可能な更新費用30億円の見通しはどうか。また、各種計画の見直しの必要性はないか。

- ・新型コロナウイルスが中期財政計画に与える影響をどのように考えているのか。
- ・新型コロナウイルスにより製品の製造・流通が通常期と異なってきているが、本庁舎新築工事の竣工や他工事等への影響をどのようにとらえているのか。
- ・ICT活用推進計画は人件費・物件費の削減及び職員の働き方改革など、どのようなことが期待できると考えているのか。
- ・スマホ・アプリを活用していく中で、若い世代のアイデアの活用についての考えはあるのか。
- ・事務の効率化・自動化により作業時間の短縮を目標としてRPAの導入を進めるとのことであるが、先進自治体の実証実験事例から学ぶべきことも多いと思われる。RPAの導入の課題と対応についてどのようにとらえているのか。
- ・ICTを活用し、事務事業や行政のさらなる見える化を図り、市民満足度調査など効率の良い「PDCAサイクル」を確立してはどうか。

(2) 災害（水害）に強いまちづくりについて

- ・パイプライン工事後の用水から排水への機能変更に伴い、新江用水などの排水を考慮した水門操作や、田島川環境を守るための水門操作などは受け継がれてきているのか。
- ・中山間地域の耕作が難しいエリアに、調整池や遊水池を確保し、水害の未然防止や減災対策を進める必要はないか。
- ・街中の調整池としては公園や駐車場の地下構築物も考えられるが、一筆啓上茶屋移転基本計画時に、史実に基づいたお堀の一部復元も計画し、城周辺部の史跡整備と調整池機能の役割を確保してはどうか。
- ・磯部川流域では浚渫を望む声が多く聞かれる。浚渫が可能な河川構造であるならば浚渫を、不可能ならば改修計画の推進を図るべきではないか。

1 1 三宅 小百合 議員（政友会）

(1) 新型コロナウイルス対策について

- ・休校による非常勤講師の対応はどのようになっているか。
- ・学童保育で少人数での学力向上、振り返り学習ができないか。
- ・休校により学校給食が休止になっているが、食材納入業者への影響は。
- ・学童保育に給食の提供はできないか。
- ・児童、生徒は市立図書館の利用ができないが、貸出の利用ができないか。
- ・休校により共働き世帯、ひとり親世帯への影響は。
- ・嘉興市に防護服・マスク等を送ったが、現在のマスクの備蓄数、防護服数は。

(2) 三国海女について

- ・現在の海女の状況は。
- ・文化遺産、観光資源としての取り組みは。
- ・海女漁の6次産業化支援について。

1 2 松本 朗 議員（日本共産党議員団）

(1) 高齢者が元気に外出できる環境を整える

- ・高齢者が公共施設などへの入場、利用する際の割引制度があることは、社会参加を促し、生きがいづくり、介護予防にとって重要である。坂井市は、この点で遅れているのではないか。現状を明らかにするとともにさらなる調査を求める。
- ・コミュニティバスのシルバーパス（無料化）や、すべての施設入場料の割引の実施を。
- ・えちぜん鉄道、JR線、民間のバス、タクシーなどの交通機関の独自割引制度の創設を。
- ・補聴器購入への助成を求める。現在も障害者への一割助成はあるが、不十分。障害認定を受けていなくても、助成制度をつくることは有効でないか。

(2) 認知症対策の充実を

- ・市の現状について、まず初めに当市における認知症と思われる方の人数と今後の見通しについて伺う。
- ・要介護認定を受けている方のうち、認知症を抱えている方の割合は。
- ・認知症サポーターづくり、認知症カフェなどの施策を行っているが、事業の現状と効果、その事業の直面している課題は何か。
- ・成年後見制度の利用促進のために制度の改革が行われているが、後見人になる方を増やすことは、ハードルが高い。
- ・認知症の早期発見が重要だと考えるが、その一つとして、チェックがある。ホームページ上で、本人や家族がチェックができる自治体も多い。整備を検討すべき。
- ・徘徊高齢者の現状と対策について、問う。
- ・徘徊高齢者の保護対策の充実のために検討事項はあるか。

(3) 防災対策 洪水対策、河川改修の強化を求める

- ・磯部川改修のさらなる上流整備をはじめ、市内河川の整備について県が着手するよう市としての努力は如何されているか。
- ・県の事業を進めつつ、洪水ハザードマップに基づいた緊急対策は、市として行うことも重要である。取り組みの具体策をどう計画しているか。

13 永井 純一 議員（公明党）

(1) 新型コロナウイルス感染対策について

- ・英国交流派遣事業の中止について、子どもたちの無念さは如何ばかりと察する。保護者も同じ思いではないか。この事業に代わるようなものはないかもしれないが、学んできたことを生かして、思い出に残る事業を是非とも考え実行していただきたいと思うが、いかがか。
- ・家庭で子どもを見れない場合の学童は、基本は登録者ということである。それ以外の子どもたちは学校で見ただけということか。学童に集中しても如何かと思う。学校開放がよいかと思うが、いかがか。
- ・特別支援学校通学の児童生徒および支援学級の子どものための対応を伺う。
- ・給食が停止になった。臨時職員への補償と、納入業者へはどのような対応になっているか。
- ・図書館の本は不特定多数の手に触れられるため、不安に思われる方が多数いる。感

染防止や市民が安心して借りられる環境を提供するため、書籍消毒器の導入を提案する。

- ・新型コロナウイルスによりさまざまな業界、市内企業に影響が出ている。相談や国・県市の支援が適切かつ迅速に行われる態勢づくりを求める。
- ・現在、子どもの命を守るべく対策が打ち出されているが、感染すると重篤になる高齢者への注意喚起が少ないように思う。市広報、回覧版などあらゆる機会を通し、周知徹底を図るよう要望する。

(2) 子ども医療費の無償化について

- ・財政が厳しい中、医療費が高騰する中、英断をしていただいた市長から、坂井市のこれからの子どもたちへのさらなる思いと、市民へのメッセージを。

14 川端 精治 議員（志政会）

(1) 坂井市の移住定住戦略について

- ・本市は2018年、208人の転出超過であったが、2019年の転入者数および転出者数とその状況分析結果はどのようなものか。また、転入超過となっている県内自治体の状況分析も併せて伺う。
- ・第二次まち・ひと・しごと創生総合戦略において、5年後のUターン者数70人、Iターン者数30人を数値目標に設定しているが、具体的な施策を伺う。また対象者に対しての情報提供手段は。
- ・2019年度からの新規事業である、地方創生マッチング強化・移住生活支援事業の今年度実績はゼロである。国は6年間を目途に実施することとしているが、実績を出しにくい状況の中、今後どのように展開していくのか所見を伺う。
- ・来年度から拡充される空き家等対策事業の空家改修・支援事業の対象者は県外在住者や新婚、子育て世代となっているが、どのように取り組んでいくのか。
- ・福井県のUターンセンター東京オフィスが出展している「NPO法人ふるさと回帰支援センター」は年間約5万件のUIJターン相談を受け、豊富なデータを有していることから多くの自治体が連携し移住定住の実績をあげている。本市も連携すべきと考えるが所見は。